

第 15 回 事 業 報 告

令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

事 業 の 概 要

本財団は、当初、高度機能性材料およびこれに関連する科学技術分野における先見的かつ創造的な研究者への研究助成および国際交流への助成等を行い、もって社会経済の発展に寄与することを目的として昭和 63 年 12 月 15 日内閣総理大臣（主務官庁科学技術庁）の許可を得て財団法人として発足しましたが、現在は研究助成並びに研究集会スタートアップ及びその飛躍への助成を行っております。

なお、平成 23 年 3 月 25 日に内閣府公益認定等委員会から公益財団法人として認定する「認定書」を受領し、同年 4 月 1 日、旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行い、新公益財団法人として再出発しました。

公益財団法人として 15 年目の当年度は、物価高や世界不安の中で日本経済が揺れた一年でした。米国による関税政策の影響により金融政策や為替相場、輸出を中心に予想外の展開となりました。日銀はマイナス金利解除後も段階的に利上げを進め、2025 年末には短期金利が 0.75%程度まで上昇しましたが、依然として海外より低金利のため円安傾向が続き、結果基本財産の利子・配当等の公益目的事業収入は計画を上回ることができました。

なお、本年度の助成金額は計 5,017 万円となり、また今後の充実した助成に資するため、研究助成準備金（公益充実資金）の積み立ても行いました。

事 業 の 状 況

1. 研究に対する助成

本年度も、全国の主要な大学及び研究機関に募集関係資料を送付した他、関係学会誌や本財団のホームページ、また他公益法人の共同サイトを通じて広範に令和 7 年 6 月 15 日を締切日として申請者を募りました。慎重な審査の結果、別紙助成者明細の通り、研究助成は 47 件（申請件数 112 件）4,684 万円の助成となりました。

2. 研究集会スタートアップ及びその飛躍への助成

本年度も、全国の主要な大学及び研究機関に募集関係資料を送付した他、関係学会誌や本財団のホームページ、また他公益法人の共同サイトを通じて広範に令和 7 年 6 月 15 日を締切日として申請者を募りました。本年度の新規助成件数は 2 件で助成金額は 100 万円となりました。

令和7年度 助成金実績一覧表

公益財団法人 泉科学技術振興財団

区分	助成種別	申請件数	助成件数	助成額(万円)
新規助成	研究助成	112	47	4,684
	研究集会スタートアップ 及びその飛躍への助成	2	2	100
	(小計)	114	49	4,784
継続助成	研究集会スタートアップ 及びその飛躍への助成	—	5	233
合計				5,017

令和7年度 新規助成明細

(1) 研究助成

令和7年6月15日 ✕切 (申請112件)

① 金額別

100万円	45 名	4,500 万円
85万円	1 名	85 万円
99万円	1 名	99 万円
(合計)	47 名	4,684 万円

② 所属機関別採択者数 (50音順)

No.	所属機関	申請者数	採択者数	No.	所属機関	申請者数	採択者数
1	宇都宮大学	2	1	21	東北大学	5	2
2	大阪大学	5	3	22	鳥取大学	1	1
3	大阪公立大学	5	1	23	名古屋工業大学	3	2
4	大阪産業技術研究所	1	1	24	名古屋市立大学	1	1
5	岡山大学	3	1	25	奈良先端科学技術大学院大学	3	2
6	関西大学	1	1	26	日本大学	1	1
7	岐阜薬科大学	2	1	27	兵庫県立大学	5	2
8	九州大学	3	2	28	広島大学	3	2
9	京都大学	5	2	29	福井大学	1	1
10	京都工芸繊維大学	2	1	30	物質・材料研究機構	5	3
11	近畿大学	2	1	31	山形大学	2	1
12	熊本大学	2	2	32	立命館大学	1	1
13	高知大学	1	1	33	和歌山県立医科大学	1	1
14	産業技術総合研究所	3	1	34	早稲田大学	1	1
15	静岡大学	1	1				
16	静岡県立大学	1	1				
17	中央大学	1	1				
18	東京大学	3	1				
19	東京科学大学	2	2				
20	東京都立大学	1	1	合計			
							47

※申請者の③所属機関別は4頁をご参照願います。

④採択者および研究課題は、5頁～7頁をご参照願います。

③ 所属機関別申請者数 (50音順)

No.	所属機関	申請者数	No.	所属機関	申請者数
1	足利大学	1	36	東京都立大学	1
2	阿南高等工業専門学校	1	37	東京理科大学	3
3	茨城大学	1	38	東北大学	5
4	宇都宮大学	2	39	徳島大学	2
5	大阪大学	5	40	鳥取大学	1
6	大阪工業大学	1	41	富山高等専門学校	1
7	大阪公立大学	5	42	名古屋大学	1
8	大阪産業技術研究所	1	43	名古屋工業大学	3
9	岡山大学	3	44	名古屋市立大学	1
10	岡山理科大学	1	45	奈良女子大学	1
11	鹿児島大学	1	46	奈良先端科学技術大学院大	3
12	鹿児島工業高等専門学校	1	47	日本大学	1
13	金沢大学	2	48	兵庫県立大学	5
14	関西大学	1	49	広島大学	3
15	関西学院大学	1	50	福井大学	1
16	北里大学	1	51	福井工業大学	1
17	岐阜大学	1	52	福岡大学	2
18	岐阜薬科大学	2	53	物質・材料研究機構	5
19	九州大学	3	54	北海道大学	1
20	京都大学	5	55	山形大学	2
21	京都工芸繊維大学	2	56	山口大学	1
22	近畿大学	2	57	横浜国立大学	1
23	熊本大学	2	58	米子工業高等専門学校	1
24	群馬大学	1	59	立教大学	1
25	高知大学	1	60	立命館大学	1
26	相模中央化学研究所	1	61	和歌山県立医科大学	1
27	産業技術総合研究所	3	62	早稲田大学	1
28	山口東京理科大学	1			
29	静岡大学	1			
30	静岡県立大学	1			
31	島根大学	1			
32	城西大学	1			
33	中央大学	1			
34	東京大学	3			
35	東京科学大学	2		合計	112

④ 採択者および研究課題

令和7年度 研究助成（47名）

（職名・所属機関は申請時のもの）

No.	氏 名 (50音順)	職名	所属機関	研究課題	助成金額 (万円)
1	吾郷 万里子	教授	鳥取大学 工学部化学バイオ系学科	深共晶溶媒を用いたスベリンの抽出と PFAS代替材料の開発	100
2	雨夜 徹	教授	名古屋市立大学 大学院理学研究科・理学情報専攻	ろ過型原油分離のための細孔内がパイ修飾 された高分子材料の創製	100
3	飯村 壮史	グループリー ダー	物質・材料研究機構エネルギー・環 境材料研究センター	ヒドリド電解槽を用いたCO2の還元的官能 基化	100
4	池下 雅広	助教	日本大学 生産工学部	円偏光有機ELを志向した凝集誘起円偏光燐 光性錯体の開発	100
5	井尻 政孝	助教	東京都立大学システムデザイン学 部・機械システム工学科	実用金属中で最も軽量なMg合金表面の耐 食性と疲労特性を向上させるための表面改 質技術の開発	100
6	猪瀬 智也	研究員	産業技術総合研究所材料基盤研究部 門	がん標準治療の壁を突破するカルシウム塩 ナノ粒子の創製	100
7	岩本 貴寛	テニユアト ラック助教	京都工芸繊維大学 分子化学系	構造秩序とアモルファス性が共存する高分 子材料の創成	100
8	植木 洸輔	准教授	近畿大学 理工学部機械工学科	優れた機械的特性と生体親和性を両立した Zn/Fe-生体活性ガラス複合材料の創製	100
9	上田 忠治	教授	高知大学 教育研究部総合科学系複合領域科学 部門	ポリオキシメタレートの人工プロテアーゼ としての機能確立	100
10	宇部 達	准教授	静岡大学 工学部	極低温環境において駆動可能な高分子光アク チュエーターの開発	100
11	大瀧 倫卓	教授	九州大学 大学院総合理工学研究院	導電性窒化物により高導電性と低格子熱伝 導率を両立できる耐熱性ナノ構造酸化物熱 電材料の開発	100
12	大山 諒子	助教	奈良先端科学技術大学院大学先端科 学技術研究科物質創成科学領域	近赤外光機能を有する金属フリー有機分子 の創出	100
13	小野寺 航	助教	早稲田大学 先進理工学研究科・生命医科学専攻	高効率なDNA分解に向けたDNase I増感剤 Praja1の配列最適化	100
14	神川 憲	教授	大阪公立大学 理学研究科化学専攻	キラルな光応答性トロイダル共役電子材料 の開発	100
15	河智 史朗	助教	兵庫県立大学 理学研究科・物質科学専攻	室温マルチフェロイック材料における局所 対称性の探索によるスピン駆動分極の起源 解明	99
16	木元 慶久	主任研究員	大阪産業技術研究所物質・材料研究 部	エネルギー材料の摩擦攪拌合成	100
17	久野 智子	助教	立命館大学 理工学部	新規希土類磁石における成形圧力制御によ る高磁力発現微細組織構造の開発	100
18	今野 博行	教授	山形大学 大学院理工学研究科	N-ヒドロキシフタルイミド誘導体の設計、 合成と機能性評価	100
19	齊藤 馨	博士後期課程学生 (7/1より東京科学 大学助教)	東京科学大学 理学院化学系	本質的な酸素空孔に基づいた新規高プロト ン伝導体の創出とダイナミクス解明	100
20	手跡 雄太	特定助教	京都大学 工学研究科・材料化学専攻	負熱膨張ガラスの創製と熱収縮機構の解明	100

No.	氏 名 (50音順)	職名	所属機関	研究課題	助成金額 (万円)
21	白石 貴久	准教授	熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター	高荷重環境に応用可能なチタン合金の開発	100
22	杉原 伸治	教授	福井大学学術研究院工学系部門・生物応用化学講座	サルファーフリー環境低負荷型可逆的連鎖移動重合の開発と応用	100
23	徐 寧浚	助教	大阪大学 産業科学研究所	Cold sintering processによる透明アパタイト/蛍光体複合体の創製と次世代LED封止材の開発	100
24	高井 千加	教授	名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻	環境材料設計に向けたスケルトンシリカナノキューブの構造-機能解析	100
25	高岡 毅	講師	東北大学 多元物質科学研究所	透明基板×新機能原子層薄膜で切り拓く次世代分子認識センサー	85
26	高橋 忠伸	准教授	静岡県立大学薬学部 生化学分野 大学院薬学研究院 生化学講座	シアリダーゼ検出材料のウイルス特異性付与に関する研究	100
27	高橋 秀実	助教	大阪大学 大学院工学研究科	光トラッピングによる有機非線形光学結晶の形状制御	100
28	高山 知弘	チームリーダー	物質・材料研究機構ナノアーキテクトニクス材料研究センター	電子・格子自由度の協奏に基づく固体冷却材料の開発	100
29	武田 洋平	准教授	大阪大学 大学院工学研究科	サステイナブルな高効率近赤外発光有機材料の創出	100
30	塚本 孝政	講師	東京大学 生産技術研究所	クラスター物質を基盤とする新規ナノエレクトライド材料の開拓	100
31	仲井 正昭	教授	東京科学大学 総合研究院	金属生体材料への力学刺激応答性付与	100
32	長尾 匡憲	助教	九州大学 工学部・化学工学部門	星型高分子を用いたCO2光還元反応の触媒環境設計	100
33	灰野 岳晴	教授	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	光刺激により循環される高分子材料の開発	100
34	速水 真也	教授	熊本大学 大学院先端科学研究部	ナノ炭素材料に基づいたナノダイヤモンドの量子機能開拓	100
35	東口 顕士	講師	京都大学 工学研究科 合成・生物化学専攻	ジアリールエテン三量体三閉環体の電気化学的生成と近赤外応答性の評価	100
36	福田 達也	講師	和歌山県立医科大学 薬学部・薬剤学研究室	イオン液体と高分子医薬の分子間相互作用・経皮送達性の連関の解明に基づく革新的医用システムの開発	100
37	古山 溪行	教授	兵庫県立大学 大学院工学研究科	熱・振動を制御可能な近赤外医療材料の開発	100
38	細野 新	助教	東北大学 多元物質科学研究所	還元性金属蒸気を用いた電子セラミックスの低温焼結法の開発および粒界に着目した機能性向上の研究	100
39	前田 浩孝	教授	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 工学専攻	アンモニア吸着・資源化機能を有する環境応答型有機-無機複合材料の創製	100
40	松尾 貴史	准教授	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 物質創成科学領域	カルコゲン元素効果で耐久性を向上させたオレフィンメタセシス固定化触媒の開発	100
41	矢野 将文	准教授	関西大学 化学生命工学部	印刷プロセスへの展開を可能とするラジカルカチオン近赤外線吸収色素	100

No.	氏 名 (50音順)	職名	所属機関	研究課題	助成金額 (万円)
42	山口 英士	講師	岐阜薬科大学 薬学部	光応答性カルコゲン結合分子によるPETスイッチの創出と生体分子高選択センシング	100
43	山名 啓太	助教	広島大学 先進理工系科学研究科	膜内電子移動を活用した低酸素環境対応型PDT材料の開発	100
44	山本 篤史郎	准教授	宇都宮大学 工学部	金属ガラス薄帯を用いた積層板材拡散接合造形による高強度チタン合金部材の試作	100
45	吉富 徹	主幹研究員	物質・材料研究機構高分子・バイオ材料研究センター	ポルフィリン誘導体固定化細胞培養基材の開発と抗原特異的細胞医薬への展開	100
46	李 恒	助教	中央大学 理工学部・電気電子情報通信工学科	カーボンナノチューブのみで完結する半導体質・金属質ハイブリッドな超高性能光センサー	100
47	渡邊 和則	准教授	岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域	光誘導RNA導入法を基盤とした高効率な細胞死誘導を示す光温熱剤の開発	100

(2) 研究集会スタートアップ及びその飛躍への助成

令和7年6月15日 〆切 (申請2件)

① 令和7年度 採択者及び研究会名 (2名)

No.	氏 名 (50音順)	職名	所属機関	研究会名、初年度日時・場所 (予定)	初年度 助成金額 (万円)
1	池田 暁彦	准教授	電気通信大学 基盤理工学専攻	若手研究者分野横断交流会 ('26年3/5～3/6 越後湯沢)	50
2	細野 秀雄	栄誉教授 特命教授	東京科学大学総合研究院元素戦略 MDX研究センター	1st International Symposium on Materials Science of Electride and Floating Electron System ('25年12/8～12/13 横浜)	50

事業日誌

- 令和 7 年 4 月 1 日 令和 7 年度の研究助成等募集開始
各大学・研究機関等へ案内文書発送
- 5 月 15 日 令和 6 年度 第 14 回事業報告、決算報告、監事監査終了
監査報告書受領
- 6 月 9 日 第 43 回定時理事会開催
(於：いずみビル 6 階「特別会議室」)
第 14 回(令和 6 年度)事業報告書及び計算書類等の承認の件
第 15 回評議員会の開催に関するの日程・議案を決定する件
- 6 月 15 日 研究助成等の応募締切
研究助成 112 件の応募
研究集会スタートアップ及びその飛躍への助成 2 件の応募
- 6 月 25 日 第 15 回定時評議員会開催
(於：いずみビル 6 階「特別会議室」)
評議員会議長選出の件
議事録署名人選出の件
第 14 回（令和 6 年度）事業報告及び決算関係書類承認の件
現理事の任期満了による次期理事選任の件
- 6 月 26 日 臨時理事会開催
(於：いずみビル 6 階「特別会議室」)
理事長並びに常務理事選任の件
現顧問の任期満了による顧問選任の件
- 6 月 30 日 第 14 回（令和 6 年度）事業報告及び決算関係書類を内閣府
(公益認定等委員会)に届出
- 7 月 9 日 令和 7 年度第 1 回選考委員会開催
(於：いずみビル 6 階「特別会議室」)
6 月 15 日〆応募者の担当選考委員決定。評価作業開始
- 8 月 22 日 令和 7 年度第 2 回選考委員会開催
(於：いずみビル 6 階「特別会議室」)

助成候補者決定

- 9月12日 第44回定時理事会開催
(於：いずみビル6階「特別会議室」)
令和7年度研究助成等決定の件
研究助成47件、研究集会スタートアップ及びその飛躍の助成2件
- 10月1日 令和7年度研究助成等決定者へ選考結果通知
- 令和8年 3月9日 第45回定時理事会開催
(於：いずみビル6階「特別会議室」)
令和8年度事業計画の件
令和8年度収支予算書の件
令和8年度研究助成等募集要項並びに実施要項の件
収支相償上(旧制度)の剰余金解消及び中期的収支均衡(新制度)への対応について
公益充実資金取扱規程の制定について
公益充実資金の積立限度額増額について
有価証券の会計処理変更について
ハクスイテック株式会社の議決権行使の件
- 3月25日 令和8年度事業計画及び収支予算案を内閣府(公益認定等委員会)へ届出
- 3月27日 ハクスイテック株主総会にて議決権行使
- 3月31日 ホームページ改修(応募者を増やす目的で募集要項を前面にアピール)

《運営体制の充実を図るための取組》

- 6月25日 外部理事・外部監事の確認
理事9名の内8名が外部理事、監事2名の内2名とも外部監事であることを確認。
- 12月4日 第1回監事への財団運営状況報告会実施
○出席者：泉理事長・新川監事・渡部監事・事務局
○報告事項：①令和7年度助成状況、②令和7年度の収入状況、③公益法人制度改革と新会計基準への対応状況、④助成金増額について、⑤募集要項見直しについて、⑥会計ソフトについて、⑦事務局人事、⑧有価証券の会計処理について

以上